

科目名	専門分野				ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1 DP2 DP3 DP5	
	地域・在宅看護論				担当教員	専任教員	
	地域で暮らす人の看護						
履修学年	1年	履修学期	後期	単位数	1	時間数 20	
授業目標	1. 地域・在宅看護の対象者とその家族の社会的な背景を知り、在宅看護の必要性、目的・役割が理解できる。 2. 看護が提供される多様な場を知り、看護の役割が理解できる。 3. 在宅看護における看護師の倫理について理解できる。						
回	学習内容				方法	担当教員	
1	1) わが国における在宅看護の変遷と在宅看護の目ざすもの				講義	専任教員	
2	2) 地域・在宅看護の対象 ・生活機能の水準、ライフサイクル、健康障害の程度				講義・演習		
3 4	(1) 在宅看護が提供される場を知るため、看護師が働く <u>以下の3か所のいずれかで、訪問に同行する。</u> ・訪問看護ステーション(精神を含む) ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 ・診療所				演習		
5 6 7 8	(2) 法的根拠、看護の実際、看護の役割などについて 調べたことをグループでまとめ、発表する。				講義・演習		
9	3) 在宅看護を展開するための基本理念 ・アドボカシー ・エンパワメント ・パートナーシップ				講義・演習		
10	4) 在宅看護における倫理 ・看護者の倫理綱領				講義・演習		
評価規準 評価方法	演習評価・筆記試験 100点						
テキストおよび 参考文献	専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 (医学書院) 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 (医学書院)						
履修上の注意 点							